

平成24年度みんなの審査会(新さかい)審査結果(概要)

事業番号	Ⅱ-4	事業名	勤労青少年ホーム管理運営事業			
所管	産業振興	局	商工労働	部	雇用推進	課

【事業内容】

主として、30歳未満の勤労青少年の余暇活動の場として、集会室、軽運動場、和室等を提供している。

総コスト(千円)	(平成23年度決算額)	8,629千円	(平成24年度予算額)	8,650千円
----------	-------------	---------	-------------	---------

【審査員・検討委員から頂いた審査シート記載内容】

【今後の方向性】

<審査員>						<検討委員(参考意見)>					
今後の方向性	事業の方向性	拡充				今後の方向性	事業の方向性	拡充			
		現状維持			1			現状維持			
		縮小		4	1			縮小		1	
		廃止	11					廃止	4		
			ゼロ	縮小	現状維持			拡大	ゼロ	縮小	現状維持
公金投入の方向性(人件費含む)						公金投入の方向性(人件費含む)					

【改善策について】(複数回答あり)

		審査員	検討委員
改善すべき点	事業の実施内容について見直しが必要(サービスそのもののあり方等)	4	0
	事業規模について見直しが必要(サービスの水準や対象者等)	1	1
	サービス受給者の自己負担について見直しが必要	2	1
	市以外からの財源の確保を図るべき	1	0
	担い手のあり方について見直しが必要	3	1
	その他	2	0
(「その他」の具体的記述) ・泉ヶ丘勤労者体育センターの様にすべき。市直営をやめてNPOにすべき。			

【具体的な改善策提案】

- ・新たな設備投資(修繕費等も含む)の必要性を感じない。
- ・勤労者福祉としての機能の廃止、老朽化した建物は公用に資するべきではない。地域における土地活用をスポーツ施設がいいのか、地域センターがいいのかは市全体の施設(機能)から判断し、活用方法は市民参加で検討されるのが望ましい。
- ・長期的に見ると廃止が妥当。廃止までの経過的な運営に関しては、3施設一体でひとまとめにして指定管理者公募を実施する事により、更なるコストカットが可能と思われる。
- ・廃止後のあり方は地元とよく協議する事。
- ・施設が老朽化している。
- ・他の施設、例えば市民会館、女性センター等の立地等も含め、堺市の多目的な施設として全体的にバランスを取るべきではないか。勤労福祉に特化する必要性はない。学校校舎の活用なども検討すべき。
- ・対象者の年齢の幅を広げてほしい。老朽化が心配。
- ・自然に廃止しては。
- ・事務事業総点検シートの今後の改善策に同意する。
- ・お金をかけて修理をしても利用が増えるのか。
- ・場所的にとっても利便性が悪いので地域以外に貸すとよいと思う。

平成24年度みんなの審査会(新さかい)審査結果(概要)

事業番号	Ⅱ-4	事業名	勤労青少年ホーム管理運営事業				
所管	産業振興	局	商工労働	部	雇用推進	課	

【審査員・検討委員から頂いた審査シート記載内容】

【廃止の理由】(複数回答あり)	審査員	検討委員
行政で行う役割は終了している(事業開始当初の目的は既に達成されている)	4	3
時代の変化に伴う課題やニーズ(需要)を反映していない	7	1
事業の目的を達成するには、別の手段を考える方がよい	2	0
他の事業との結合・再編を検討すべき	1	2
サービス受給者の自助努力に任せるべき(税金を投入する必要はない)	2	2
効果がない(低い)	2	0
その他	5	0
(「その他」の具体的記述) ・利用率が少ない。土地の有効利用をしてほしい。 ・予算額(500万円弱)は小さいが、効果(利用者数)が低く、初期の目的からはずれてきている。耐震上の不安面もある。 ・子育て世代の保育施設や、デイサービスの施設などコミュニティに移行していくべき。 ・利用者数が極めて低い。 ・建て直して新しい活用を。		
【その他意見等】(自由記入欄に記載された意見)		
・効果の小さくなった「箱物インフラ」は、一刻も早くなくし市民の新しいニーズに答えるべき。(少子化対策等) ・耐震補強が行われていないのであれば、市民に影響があるので、即時の廃止もあるのでは。		